

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・生育初期にあたる8月下旬から9月中旬の気温が全般にやや低く経過したため、花芽分化が進んでいる。 ・特に、スプレーのカルテット系が早い。 ・11月の出荷量は、播種日を数日遅らせた産地があることから、前年の85%程度と見込まれる。 ・切り花品質は、気温の低下に伴い、草丈の伸びや花穂のボリューム感などの向上が見込まれる。 	<p>現状</p> <p>北海道は出荷終盤。山形中心に例年同様 下位等級中心の出荷スタートで下旬に数量がまとまる。葬儀需要が昨年と比べて早いスタートとなり堅調な取引が継続した。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 上旬も山形中心に出荷数量まとまる見込み。フェア等の開催も1週目の週末に予定。千葉産の出荷は中旬から下旬にスタートの見込み。</p> <p>FAJ 山形県産他も出荷始まる見込み。徐々に各産地出揃う予想。</p>
	秋田	生育は順調に進んでおり、今後増量していく。今年は、後半の作型を増やしているため、昨年の同時期に比べるとやや少ないが、一度目のピークは11/10頃を見込む。	<p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き SP・ST系とも福島・山形などから、出荷本格化。</p>
	千葉	<ul style="list-style-type: none"> ①作型の変更により11月の出荷量は例年より少なくなる見込み。神戸共選は11月上旬、西岬共選は11月中旬から出荷開始予定。 ②西岬共選はアイアン・シリーズが中心となる。その他はカルテット・シリーズが中心。 	<p>第一花き</p>
バラ	群馬	10月上中旬は晴天も多く天候が安定していたことから、平年に比べ出荷量は微増の見込み。一部産地で夏季の天候不順の影響から平年と比較し減収する見込み。11月頃から加温が始まり上位等級の出荷も安定する見込み。	<p>現状</p> <p>暖地、高冷地共に出荷サイクルで端境期に入っており、出荷数量少ない。輸入品についても9月後半の相場低迷を受け、数量減少となっている。3連休プライダル需要もあり品薄単価高での取引となる。</p> <p>見通し</p>
	山梨	生育は順調で、昨年並に推移している。	<p>大田花き 高冷地は気温低下を受け、大きな増加は見込めなくなり減少傾向となる。暖地はボリューム大きくなり、上位等級が増えてくる見込み。</p>
			<p>FAJ 引き続き、宴会需要中心の動き変わらず。東北出荷ほぼ終了し、静岡・愛知など西南暖地中心に。</p> <p>東日本板橋花き 静岡、栃木県産中心に、暖地メインの入荷となってくる。販売は婚礼等業務中心の動きとなってくる見込み。</p> <p>世田谷花き 引き続き婚礼需要中心の動きになるだろう。暖地物の引合いが強まる。</p> <p>第一花き</p>

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	群馬	定植時の天候が安定し良好であったことから、順調に生育している。病虫害等の発生も見られず、出荷量は中旬から徐々に増える見込み。	<div data-bbox="740 264 826 309" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> 入荷量も落ち着きブライダル期に合わせて福岡、大分と入荷スタートし始めた状況。気温も下がり数量も落ち着くと引き合いは良くなってきている。高冷地も徐々に減少傾向となり、静岡、愛知の出荷が徐々に始まる。
	熊本	台風の影響による定植遅れや、定植時期の長雨により、やや遅れ気味の生育となっている。10月に入り、好天となったことで回復傾向にある。年内出荷分については11月下旬ごろから各産地出揃う見込み。	<div data-bbox="740 365 826 409" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 高冷地が減少し徐々に暖地へとスライドしていく。販売面は他の花の出荷具合もあるがストック、スイビーの出荷の具合でまた引き合いはでてくる見込み。主力産地としては福岡が主力となる見込み。 FAJ 暖地の出荷量が増え、販売本格化する見込み。10月同様順調な取り引きが見込まれる。
			東日本板橋花き 11月に入り静岡県産、高知県産が入荷が増えてくる。 世田谷花き 西南暖地からの出産本格化する。夏の台風の影響もあり、遅れ気味。 第一花き
アルストロメリア	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・8月中旬から9月中旬の気温が、平年よりやや低く経過したため、生育は順調である。 ・11月の出荷量は、前年よりやや多いと見込まれる。 ・病虫害の発生は少なく、切り花品質は良好である。 	<div data-bbox="740 768 826 813" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> 愛知、長野は8月下旬からの曇天の影響から花立ちが少なく品薄状況が続いた。気温が下がり、品質が良くなったことから全体的な需要が高まった。
			<div data-bbox="740 857 826 902" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 新植ものも増加傾向となり、各色まとまり始める。中から上位等級中心となり下位等級は少ない見込み。 830,000本 @85 FAJ 引き続き長野・山形より入荷。品種も多彩に。安定した品質で順調な取り引きが続く見込み。 東日本板橋花き 愛知、青森、福島、北海道中心の入荷。出荷量は徐々に増えて来る見込み。 世田谷花き 生産者が増えて、出荷安定する見込み。 第一花き